テレビにも出ます

松山千春特集

12月に道内コンサート

十月二十二日に砂川市民会館でNHK・FMラジオの公開録音放送に出演しました。（左の写真）

アナウンサーの声『北海道は足寄町が生んだ松山千春さんです（チハル、チハルの声援）松山さん、ようこそお出で下さいました、大変な人気ですね、ファンレターなど例千枚ぐらいきますか』

千春『たいしたことないです』

アナウンサー『とにかくきょうのフェスティバルの人場整理券を一週間前にお渡ししたんですよ、八百枚を用意したんですが、なんと十分間でなくなってしまいました、松山さんの絶大な人気の秘密はなんだと思いますか』

千春『やはり（客席から顔という声）アタリ！（笑声）顔という意見もありましたけど、スタイルという面も考えてもらいたいものであります』

アナウンサー『センスタイルもいいですね（笑声）』

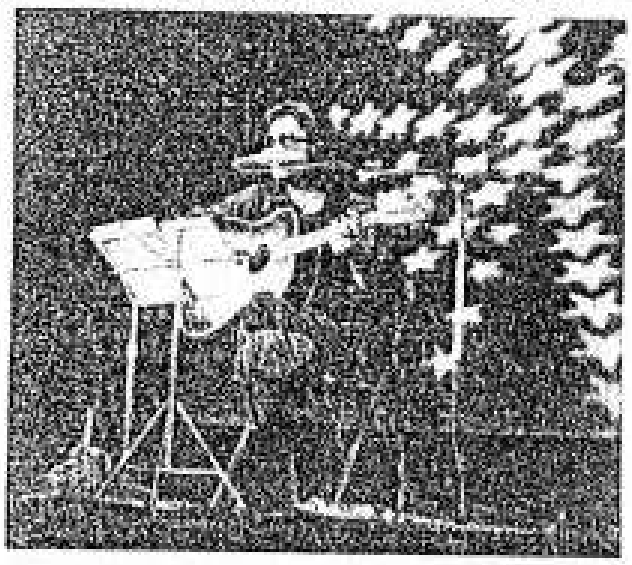
これ以上お相手をしていては会場がおさまりませんので、松山千春さんの熱唱をテープでお聞き下さい』

とのケリトリがあって千春のひとりうたに入りました。

☆　☆

十一月十九日には函館市民会館でも同じようにNHK・FM局の公開録音放送に出演しますが、これらはいずれもローカル放送の時間帯なので、こうした個しを帯録される方はそれぞれ近くのNHKへ申し込まれれば、千春の録音がつく場合は嬉んで出向きます。

☆　☆



右の写真は、千春がピアノをはやしていたことしの春のひとときのスナップで、中央の千春のすぐ後ろが八月に亡くなった5TVの竹田ディレクター、その右が実弟での千春の山本マネージャー、左側が札幌の坂本マネージャーです。

ローカル歌手が札幌にも東京にもマネージャーやマネー事務所をおいてまでと不審がる方々がいますが、レコードを出した以上は会社側としては企画的にPRしていくので、数々と千春の行動説明がひろがっていく、自分は作詩作曲者、歌手として常心していくためには、千春を理解し成長を図れる企画性のある人で、かつレコード会社や放送関係などの芸能界に顔のきく人が必要になってきたわけです。

☆　☆

十二月一日には北海道厚生年金会館で「ヤング・ハート77」と銘うつての歌の熱唱をひらきます。

これは俳名の千春をスカウトして昨年四月から5TVラジオに「千春のひとりうた」の番組を設けて世に出してくれた恩人の竹田健二氏の追悼公演ともなるもので、千春はもちろん、竹田氏のお世話になったふきのとうをはじめ各レコード会社のフォーク歌手が出演します。

☆　☆

十二月十四日は岡山札幌の厚生年金会館で恒例のチャリティ・シリーズ「歌つて笑つて大集合」に坂本九・由紀さおり、南沙織、あべ静江、奥村チヨ、西村雅夫らの先輩とともに出演しますが、このもようは十七日のテレビで放送します。

千春のテレビ出演は、昨年一月二十二日のNHKの『フォークによせて』、つぎは八月二十九日に日本テレビの金曜劇場で『たった一人の新聞社』で家族会議で出演、ことしに入って一月二十三日にNHK教育テレビの『若い広場・大地のうた』に出演、この番組のために『大空と大地の中で』をつくって全国の視聴者に聴せたわけで、このあとSTVテレビの「二時ワイドショー」に一度だけ出演しましたが、もともと千春はキレイな衣装と豪華なバックで歌だから踊りだかわからない見世物的なテレビ向きではなく、ラジオやコンサートで自分がつくった歌を歌いながら人生や世間を語るタイプなのです。

それでも昨年創立二十周年を迎えるSTVでは、一時間半のテレビドラマを制作することになり、脚本は且下、高倉健主演の「あにき」を書いている倉本聡、歌は千春の作詩、作曲でとなり、このほど富良野市付近で二人をふくめたロケーションコンサーティングがおこなわれて順調に入っていて、千春はもう、テレビにも出演しました。

（旭川駅で姉の綾里子の長男光弘を抱いているところ）

十二月の道内コンサートは、千春の誕生日を初日につぎの日程となりました。

16日　北見市民会館
17日　網走市民会館
18日　小樽市民会館
19日　岩見市民会館

各会場とも午後六時開場、先着整理券、入場券はこの二十日ごろから発売の予定です。

各地区の方々からコンサート開催のご要望が強いのですが、会場側の都合と、旭川・札幌と東京で二本の歌謡番組をもっている千春の都合とが一致する場所となるので、どうしても限られてしまいます。

明年からは道内の各都市をなんとか年に二回づつはまわりたいものと計画を練っています。

お父様から新聞送って下さるとおっしゃられた時はファンクラブの新聞だとばかり思っていた私ですので、驚いてしまいました。

自分ひとりで新聞を作っている方は、テレビでしってましたが、まさか千春くんのお父様とは…

感動するやら、お父様の生き方が今の千春くんに、強い影響があるんじゃないでしょうか？

私は二十九才の主婦です、幼稚園に通っている男子が一人おります。

子供に手が離れ、主人の仕事が落ち着いた仕事の為、自分の時間ができ、学生時代から好きだったフォークを聞くようになり、千春くんの存在を知りました。

最初はびっくりしました

読者の室

が、このもようは十七日のテレビで放送します。

千春のテレビ出演は、昨年一月二十二日のNHKの『フォークによせて』、つぎは八月二十九日に日本テレビの金曜劇場で『たった一人の新聞社』で家族会議で出演、ことしに入って一月二十三日にNHK教育テレビの『若い広場・大地のうた』に出演、この番組のために『大空と大地の中で』をつくって全国の視聴者に聴せたわけで、このあとSTVテレビの「二時ワイドショー」に一度だけ出演しましたが、もともと千春は

（旭川駅で姉の綾里子の長男光弘を抱いているところ）

高い透き通る声で唄っていて、話をする時の乱暴な言葉使い…。

東京から来たばかりでしたので、本当にびっくりしました。

でも何故か聞いているうさ、不思議と親かさが感じられて、それからというもの、ラジオに耳を傾けるようになり、今はちょっぴり恥しいのですが、アタックヤング、オールナイトニッポンまで聞くようになりました。

あと一年で三十才になる私が、千春君の歌に夢中になっているなんて気恥しいのですが、主人もフォークが好きで友人の結婚式に『大空と大地の中で』を歌うほどですので、その点主人に『コンサートに行きたい』など言えるので幸せです。

今後とも新聞送って下さい。

よろしくお願いします。

千春くんとお父様の活躍を期待しております。

くれぐれもお体を大切になさって下さいませ。

（札幌の K・O さん）

★　★

出しいナ…ちょっぴりネ言えてあげなきゃいけないことだけど、やっぱり出

ただき、忙がしくなって、きたでしょ。

身体だけは気をつけて、やるからにはオールナイトニッポンも、全力でぶつかってほしい。

そう願います……

頑ってほしい声の続く限り……頑ってほしい心の眼を。そしていつまでも変わらない、松山千春でいてほしい。あたしはじとる。

（豊頃の U・T さん）

★　★

北海道のオールナイトニッポンのことですけど、ホントにこの明夏特別が全国的、年令不問になってきましたね。

おめでとうございます。

これからもがんばって下さいね。

一つ気になったのですけれど、あの対談の時の千春さまの話し方というか言葉使い、ちょっとどつに話こえました、生意気いってごめんね。

あなたは、かざらずにいつもありのままを見せようという考えなのでしょう。

だけど、一応目上のふとの会話だしねもう少しなんとかごめんなさい。

話かわってゲチャ

（函館のコンサートで熱唱中のハンサン姿をパチリ）

ッポンのアップリケ、ってもよかったです。

私共は、岡林さんたちのこと全く知らなかったけどあの方たちの歌って、やっぱり特別の愛の歌とは、ちがうと思います。

みんなにうけるために、きかせるために、つくったようたという感じではなくいつのまにか口からうもれて歌になったとか、不満がたまってできたとか、そういう感じがします。

サラッと軽くながす感じでなく、語りかける、うったえる、一人言をいう、ホントに素朴でいいですね。

この頃聞いてたように、千春さまがギターだけをバックにした、レコードをだして下さるとうれしいです

（函館の S・N さん）

主婦の室

○…その人が有名になれば安心してイリチケンなどと出身地を売り物にするいき方もありますが、千春の場合は、ものになるかならないかメドのつかないうちから北海道の足寄町を国的にひろまり、今回各地でコンサートもひらくので東京に千春の事務所もできたので、夏の住所のジケマになるから足寄の方へ電話をかけないようにーという千春の指図はわかるとしても、千春の生活の根拠は足寄であり、あくまでも足寄のローカル歌手ですから知恵袋や知恵りは従来どおりご遠慮なく知者下さい

○…この「千春特集号」を時間差出の方は、どうたとも誌料とも一冊月一百円、一カ年二千円でおにけしています。